

ぬかづけ 日記 連載②



白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

■北田純子ブログ

「シラスカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



◆今月のおもしろかった本
食の歴史 人類はこれまで何を食べてきたのか

ふるさとに根差した キャリア教育拡充のために

私は日々『白糠町のすてきな当たり前』を探しに、町内各所へおじゃましています。いろんな方々とお話したり、一緒に作業したり、微力ですが主に広告やPR関連についての相談に乗ったり、ということをしています。そして最近、教育関係者の方から「これから『ふるさとキャリア教育』に注力していくので、ぜひ協力してほしい」と、お声がけをいただきました。この取り組みは、白糠小学校・白糠中学校の計9年間の中で行う総合学習で、テーマは『ふるさとに誇りを持ち、未来へはばたく子の育成』。

キャリア教育とともに、将来、白糠町を支える人材を育てるといふ、大切なミッションも宿しています。子どもたちがふるさとに誇りを持ち「将来、この町を支えたい」と思い、実践する人に育つためには、一体どうしたらいいのでしょうか？

個人の考えですが、まず第一段階として、ふるさとを深く知ってもらうことが重要だと考えます。ふるさとを深く知るとは、ネット検索で見つけられることをなぞるだけでは足りません。より深掘りして、白糠ならではの特徴や魅力を知ること。そして、見つけた点と点を結び、線や面にして体系的に知る作業が必要です。そのためにもフィールドに出て人に会い、

体験し、対話し、身をもって学びを得ることが不可欠だと感じています。

幸い私もこの2年間で、さまざまな方と出会うことができました。皆さんとの出会いを通じて、ネットではヒットしなかった白糠のさまざまな魅力を知ることができました。特に第一次産業に従事している皆さんにお会いできる機会が増えたのは、北海道、そして道東という土地ならではのと感じています。私が前出の教育関係者の方に声をかけられたのは、学校と町民の皆さんをつないでほしいというご要望があるからだと思っています。というわけで、もしかしたら急にこちらからご連絡を差し上げることもあるかもしれません。



新規就農を目指す矢部さんと野中さん取材しました。矢部さんは宮木農園で昨年着任した西村さんとともに畑の土づくりなどを行っています（写真）。詳しくは町公式フェイスブックで。

皆さんがお仕事や今までの人生で培ってきた経験・知恵・哲学を子どもたちに伝えていただき、白糠の未来を担う人材の育成にご協力いただきたいと思います。ご多忙とは存じますが、なにとぞお力添えいただけましたら幸いです。